

23
十字架
聖徒伝 186

十字架を 負って



イザヤ書53章

受難のメシア

アウトライン

0. イントロダクション

I. メシアの辱め・高揚・勝利 52:13~15

II. イスラエルの告白 53:1~9

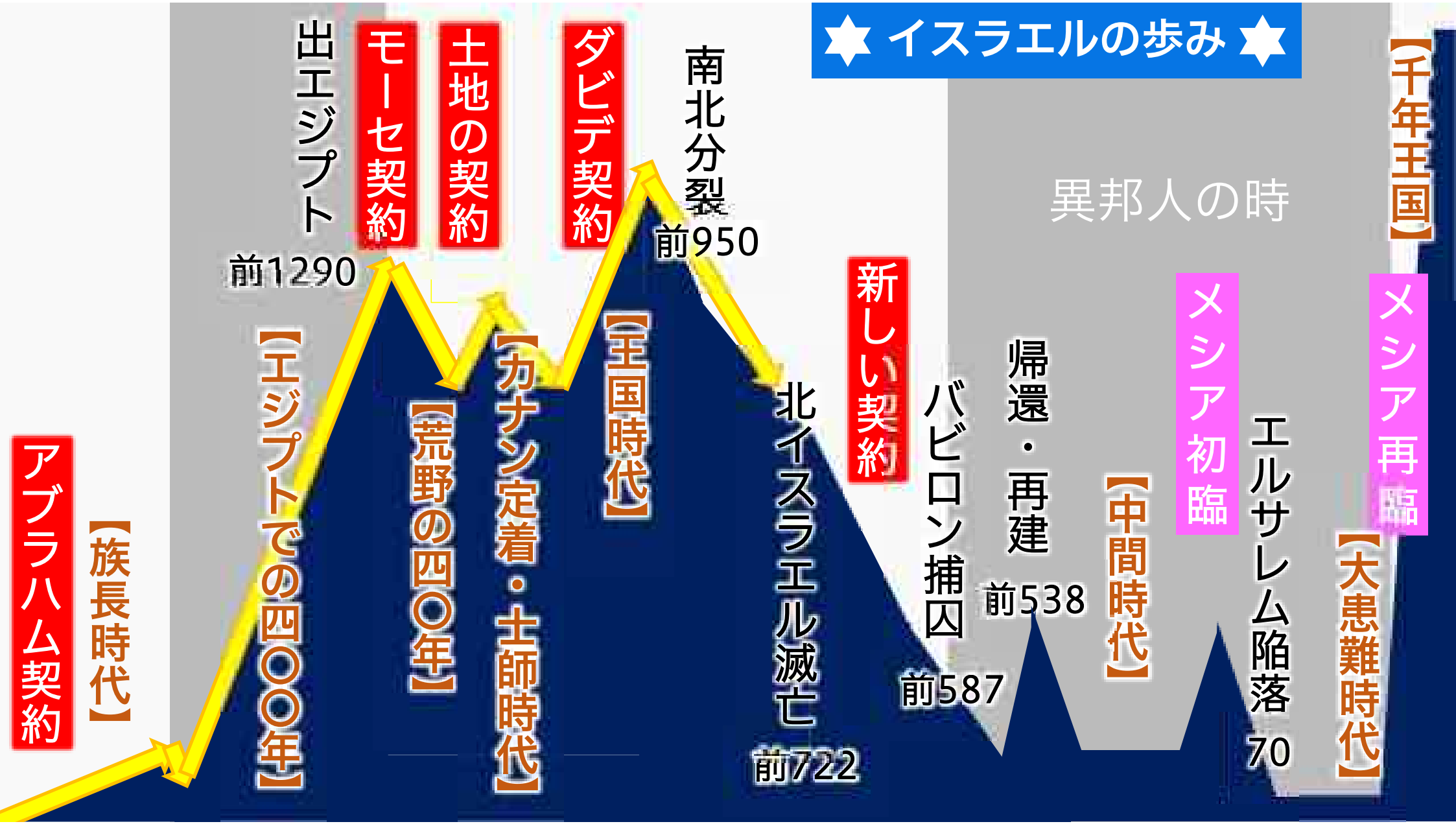
III. 栄光のメシア 53:9~12

IV. まとめと適用

十字架を負って歩むということ



★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

前1290

【エジプトでの四〇〇年】

出エジプト

モーセ契約

【荒野の四〇年】

土地の契約

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

前950

南北分裂

前722

北イスラエル滅亡

新しい契約

前587

バビロン捕囚

前538

帰還・再建

【中間時代】

メシア初臨

エルサレム陥落 70

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

イザヤ書の構成 と イザヤの生涯

前半

■北王国は滅亡。南王国も危機に。

→確定している裁き・バビロン捕囚

裁きの警告

後半

■晩年のイザヤが告げたのは、捕囚を前提とした、解放の希望。

→究極の希望が、メシアによる神の王国

回復の希望

イザヤ書後半の構成

- ① 40～48章 イスラエルの戦いの終わり
→バビロン捕囚からの解放

メシアの影
ペルシャ王キュロス

- ② 49～57章 イスラエルの咎の赦し
→イスラエルの最終的回復

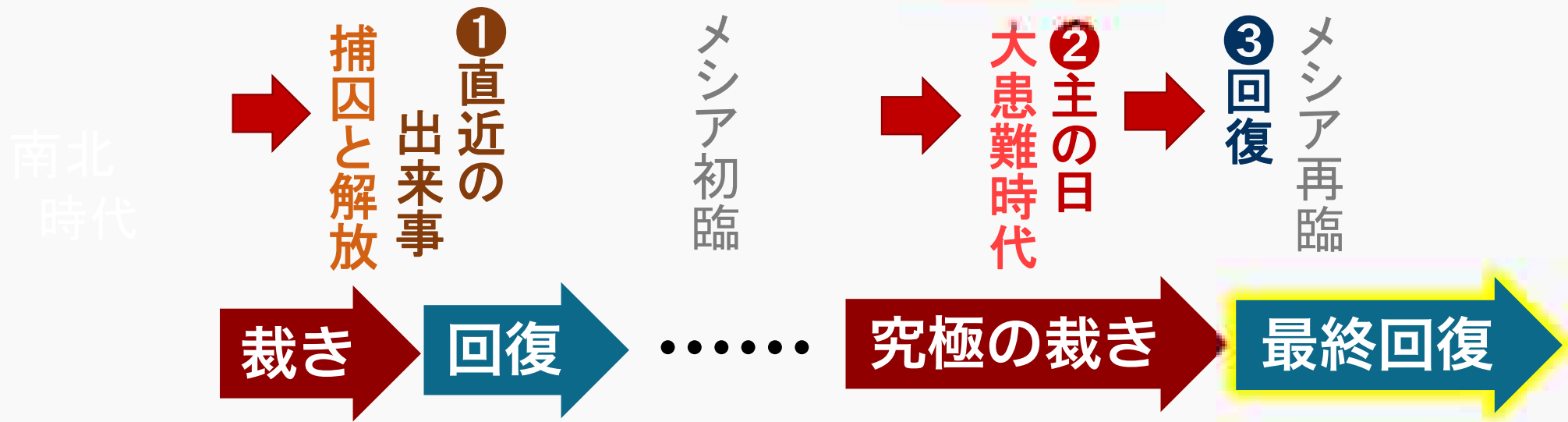
メシア

- ③ 59～66章 イスラエルが受けた罪の代価

後半の中心が、イスラエルを贖うメシア

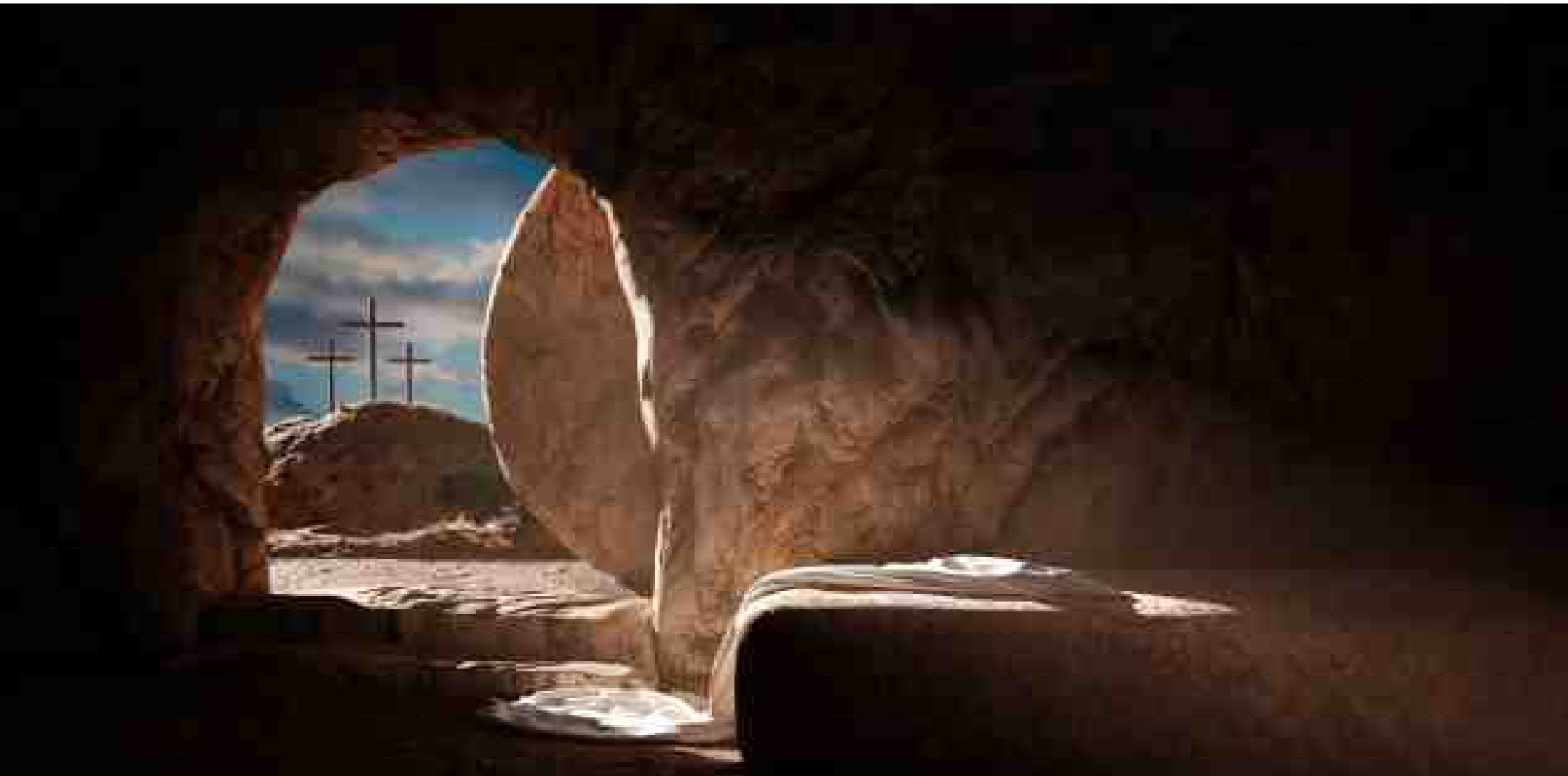
預言書の構成





イザヤ書：主のしもべの歌

- ① 42:1～9 …主の僕は、人となってへりくだり(受肉)
み教えにより、神の義を打ち立てる。
- ② 49:1～13 …主の僕の栄光は、神によって隠される(受肉)
主の僕は、イスラエルと異邦人に救いをもたらす。
- ③ 50:1～11 …主の僕は、罪なき身で苦しめられる(受難)
主の僕は、栄光の王として裁きをくだされる。
- ④ 52:13～53:12 …主の僕は、人々の罪のために苦しみ(受難)
使命を果たされた後に天に挙げられる(栄光)



I. メシアの辱め・高揚・勝利

イザヤ書52章13～15節

高揚 メシアの高揚 イザヤ52:13

「見よ、わたしのしもべは栄える。彼は高められて上げられ、きわめて高くなる*。

*高く、より高く、最も高く

= 復活し、昇天し、神の右の座に着く

■ しもべの歌④は、メシアの高揚から始まる。
曲の最初にファンファーレが鳴るように!!

メシアは復活し、天に上り、神の右の座に着かれた



受難 メシアの辱め イザヤ52:14

多くの者があなたを見て驚き恐れたように、その顔だちは損なわれて人のようではなく*、その姿も人の子らとは違っていた。

*鞭打たれたイエスの姿に重なる。

…ローマの鞭は、分かれた先端に、ガラスや金属片等が仕込まれており、肉を削ぎ落とす残忍なものだった。

メシアは辱めの極みを受けた



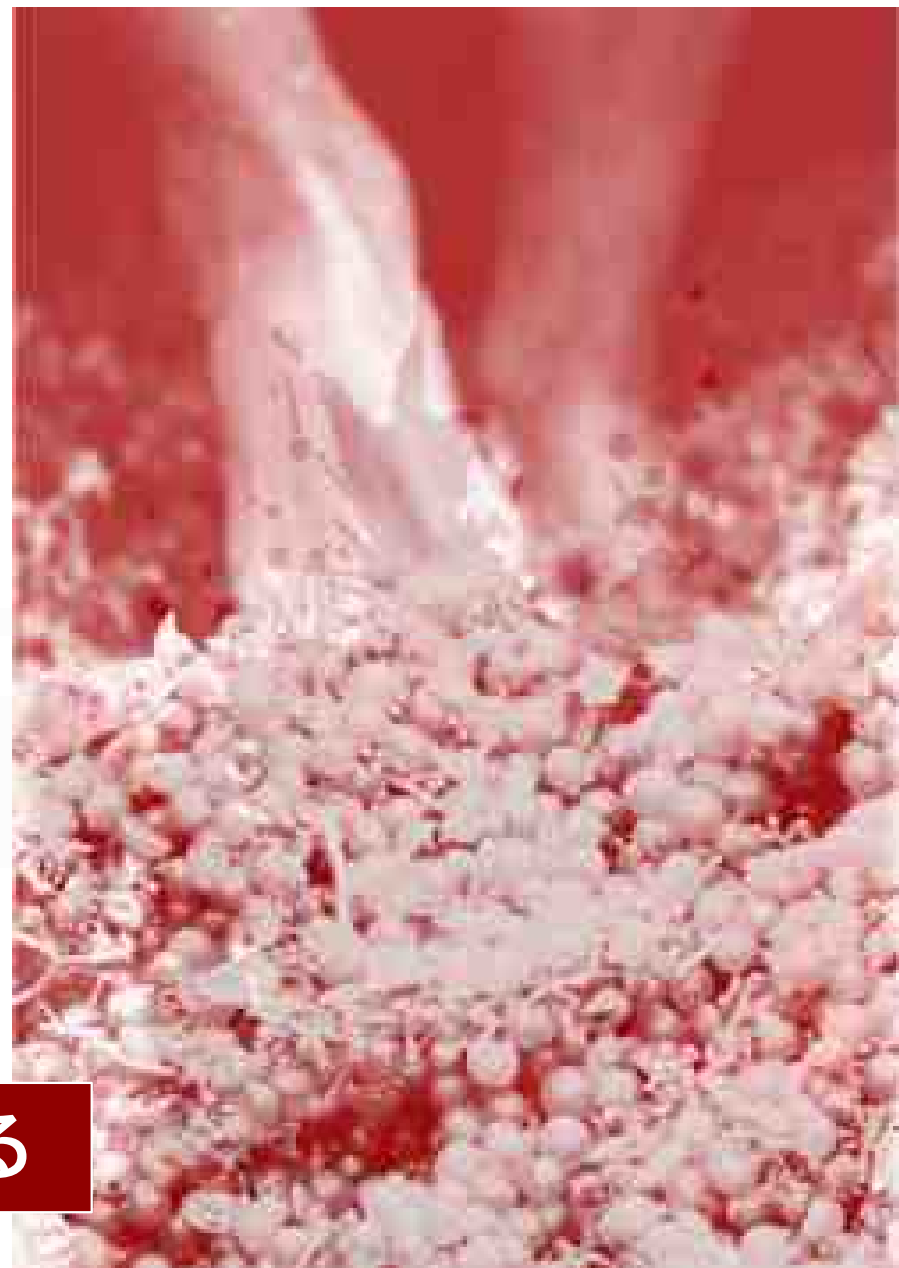
高揚 メシアの勝利 イザヤ52:15

そのように、**彼は多くの国々に血を振りまく***。王たちは彼の前で口をつぐむ。彼らが告げられていないことを見、聞いたこともないことを悟るからだ。」

***裁きをくださる再臨の主イエスの姿**

「**その方**は血に染まった衣をまとい、その名は「**神のことば**」と呼ばれていた。黙示録19:13」

再臨のメシアは裁き主として来られる





II. イスラエルの告白

イザヤ書52章1～9節

受難 へりくだりの主 イザヤ53:1~2

私たちが聞いたことを、だれが信じたか。

【主】の御腕*はだれに現れたか。

彼は主の前に、ひこばえのように生え出た。
砂漠の地から出た根のように。彼には見るべき姿も輝きもなく、私たちが慕うような見栄えもない。

*メシア

■メシアは、摘み取られる脇芽や、砂漠で地面から突き出した根のように、誰にも見向きもされずに誕生する。



オリーブのひこばえ

メシアの誕生

初子を産み、布にくるんで、飼葉おけの中に寝かせた。
客間には彼らのいる余地がなかったからである。ルカ 2:7



受難 メシアの辱め イザヤ53:3~4

彼は蔑まれ、人々からのけ者にされ、悲しみ
の人で、病を知っていた。人が顔を背けるほど
蔑まれ、私たちも彼を尊ばなかった。

まことに、彼は私たちの病を負い*、私たちの
痛みを担った。それなのに、私たちは思った。
神に罰せられ、打たれ*、苦しめられた*のだと。

* (犠牲を) ささげる。 * (汚れた病に) 打たれる

* 苦しみでひれ伏す状態。

■ 汚れの病に冒された比喩で語られるメシア。

神への冒瀆罪、ローマへの反逆罪で裁かれたメシア



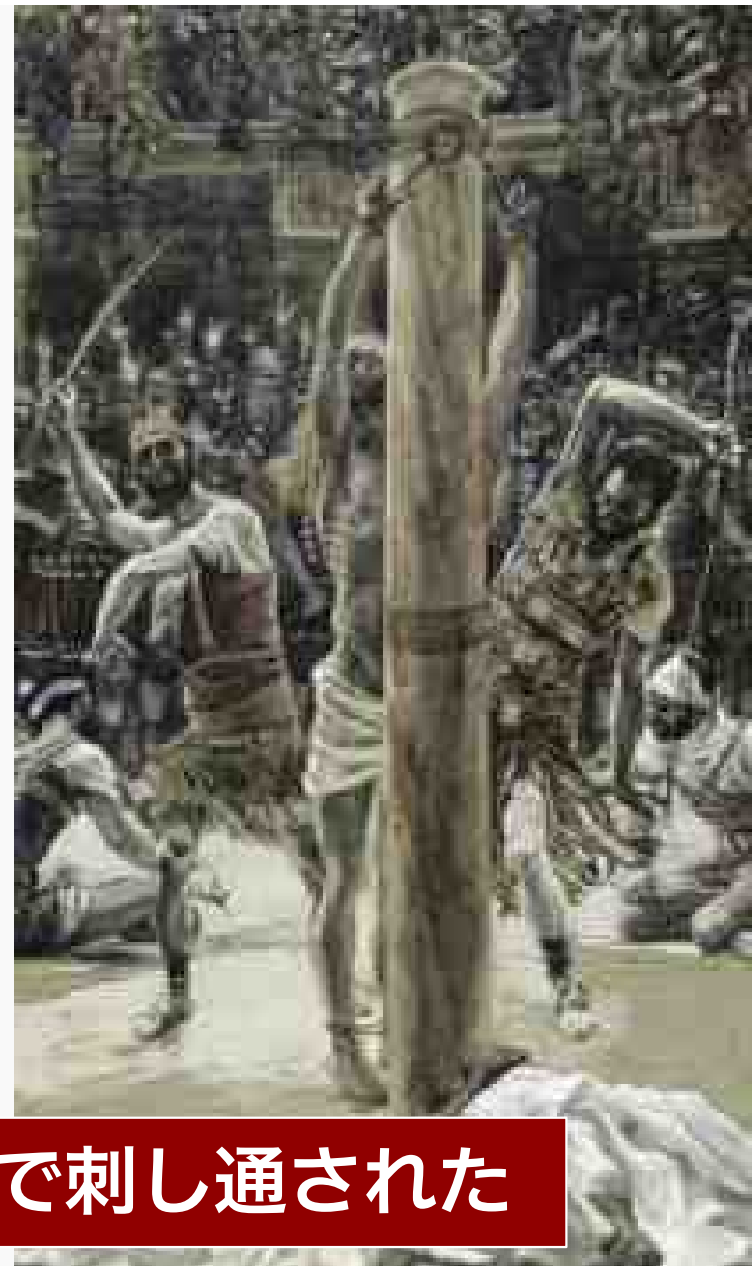
受難 贖いの苦しみ イザヤ53:5

しかし、彼は私たちの背きのために刺され*、
私たちの咎のために砕かれた*のだ。彼への
懲らしめが私たちに平安(シャローム)をもた
らし、その打ち傷*のゆえに、私たちは癒や
された。

*チャラル…突き刺す

*ダガ…打ち砕く

*チャヴーラ…縞模様。ミミズ腫れ。鞭の傷。



メシアは鞭打たれ、釘付けにされ、槍で刺し通された

受難 咎を負われて イザヤ53:6

私たちはみな、羊のようにさまよい、それぞれ自分勝手な道に向かって行った。しかし、【主】は私たちすべての者の咎を彼に負わせた。

- 主イエスが捕らえられた時、弟子たちすら、散り散りに逃げ去った。

メシア一人が、すべての罪を負った



受難 忍耐 イザヤ53:7

彼は痛めつけられ、苦しんだ。だが、口を開かない。屠り場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。

- ローマの裁判以降、主イエスは一切抗弁せず、沈黙を貫かれた。

嘲りの中でメシアは沈黙された



受難 身代わりの死 イザヤ53:8

虐げ*とさばきによって、彼は取り去られた。彼の時代の者で、だれが思ったことか。彼が私の民の背きのゆえに打たれ、生ける者の地から絶たれ*たのだと。

*オツツエ…抑圧。強制、刑務所。

*死を意味する表現。詩篇88:5

メシアは十字架で死なれた



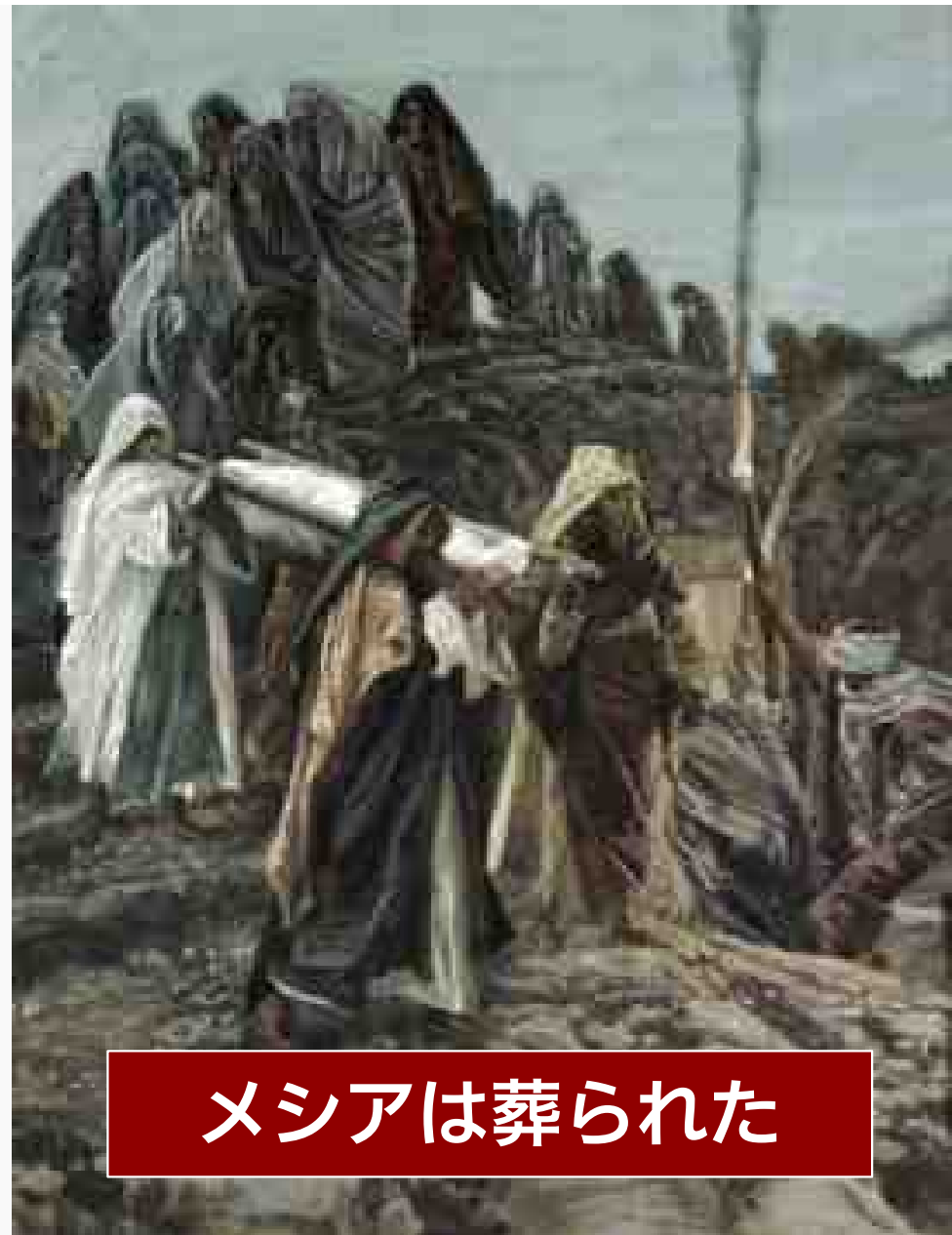
受難 埋葬 イザヤ53:9

彼の墓は、悪者どもとともに、富む者とともに*、その死の時に設けられた。彼は不法を働かず、その口に欺きはなかったが。

*悪者と富者の墓は、本来別々

■罪人として死んだ主イエスは、富者アリマタヤのヨセフの未使用の墓に葬られた。

(マタイ27:57~60)



メシアは葬られた

An aerial photograph showing a vast, flat landscape under a clear blue sky. The terrain appears to be a mix of light-colored soil or sand and patches of green vegetation, possibly a coastal plain or a large field. The horizon is visible in the distance, separating the land from the sky.

III. メシアの栄光

イザヤ書53章10～12節

高揚 復活 イザヤ53:10

しかし、彼を砕いて病を負わせることは【主】のみこころであった。彼が自分のいのちを代償のささげ物とするなら、末長く子孫を見ることができ、【主】のみこころは彼によって成し遂げられる。

■ 初臨のメシアの受難

→ 再臨のメシアの栄光

■ メシアは、エルサレムで王となり、アブラハムへの約束通り、繁栄するイスラエルを永遠に守り導かれる。



メシアは復活された

栄光の王となられる

高揚 贖い主 イザヤ53:11

「彼は自分のたましいの激しい苦しみのあとを見て、満足する。わたしの正しいしもべは、その知識によって多くの人を義とし、彼らの咎を負う。」

- 自身が成し遂げた受難の御業に満足
 - ➔ 人となられた神だからこそその言葉
- 聖書を正しく解き明かした主イエスは、福音を信じた者を義と認められる。

メシアは贖いを成し遂げられた



高揚 救いととりなし イザヤ53:12

それゆえ、わたしは多くの人を彼に分け与え、彼は強者たちを戦勝品として分かち取る。彼が自分のいのちを死に明け渡し、背いた者たちとともに数えられたからである。彼は多くの人を罪を負い、背いた者たちのために、とりなしをする*。」

*現在信仰形。…天のメシアの今の働き。

■福音を信じて救われた者は、
主イエスの手に勝ちとられた。



贖いを成し遂げられたメシアが、私たちのとりなされる



V. まとめと適用

十字架を負って従うということ

メシアの受難の理由

- 主ご自身が定められていた。血は血によってしか贖えない。
「わたしは敵意を、おまえと女の間、おまえの子孫と女の子孫の間に置く。彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打つ。
創世記3:15」
- 初臨のメシアは、人の罪を贖うために、人として来られた。
その翌日、ヨハネは自分の方にイエスが来られるのを見て言った。
「見よ、世の罪を取り除く神の子羊。」 ヨハネ福音書1:29

人となられたメシアの十字架以外に救いの道はない!!

メシア自身が予告された受難

■ ペテロの信仰告白の直後、はじめての主イエスによる受難予告。
「そのときからイエスは、ご自分がエルサレムに行って、長老たち、祭司長たち、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、三日目によみがえらなければならないことを、弟子たちに示し始められた」

マタイ福音書 16:21

→ イエスをいさめたペテロは、「さがれ、サタン」と言われた。

→ メシアの受難は、主ご自身が定められたこと。

誰も異を唱えられない。誰にも、サタンにすらも、止められない。

誰も、主の十字架の贖いの御業を止めることはできなかった!!

メシアが成し遂げられた十字架の御業

■ピリピ人への手紙2:6~11

キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。

それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名を与えられました。

それは、イエスの名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが膝をかがめ、すべての舌が「イエス・キリストは主です」と告白して、父なる神に栄光を帰するためです。

メシアが、弟子である私たちに求められていること

■マタイ16:24～25

それからイエスは弟子たちに言われた。

「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。

自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者はそれを見出すのです。」

十字架を負うとは？

- 自分の罪の結果を負うことではない。➡ただの罪の刈り取り
- “十字架を負う”とは、主イエスを信じ、従ったために、
➡ゆえなきことで、責められ、辱められ、嘲られること。
- 主を信じるとは、自分の命を主に差し出すこと。
信じた瞬間、古い自分は死んで、新生した。➡その表明が洗礼
- 私のすべては、永遠に主の所有とされている。
私は、私の命を失って、主の永遠の命に生かされている。➡救い

私たちが召された理由 十字架を負うということ

■ | ペテロ2:19~21

もしだれかが不当な苦しみを受けながら、神の御前における良心のゆえに悲しみに耐えるなら、それは神に喜ばれることです。

罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んでも、何の誉れになるでしょう。しかし、善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、それは神の御前に喜ばれることです。

このためにこそ、あなたがたは召されました。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を残された。

キリストの弟子に求められていること

- 信仰のゆえに、不当な苦しみを受け、悲しみに耐えること。
- 善を行って、苦しみを受け、耐え忍ぶこと。
 - ➔ このために、私たちは召された。
御心に適って苦しみに耐える私たちを、主は喜ばれる。

私たちが従うべき模範が、十字架で死なれた主イエス

十字架で贖いを成し遂げられた主が、私の永遠の牧者

■ | ペテロ2:22~25

キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しくさばかれる方にお任せになった。

キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

あなたがたは羊のようにさまよっていた。しかし今や、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰った。

★ キリストの弟子として覚悟を決めよう ★

- あなたが、確かにキリストの弟子であるというなら、主への信仰のゆえに、あなたは不当に苦しめられる。
→ 主に従い、悲しみに耐える者を、主は喜んでくださる。
- 苦しみ、悲しみに耐える礎は、私たちの主イエスの福音の御業だ。「主イエス・キリストは、私の罪のために十字架で死なれ、葬られ、死を打ち破って復活された。」
- 人の行く末は、主に愛されるか。主に憎まれるか。どちらか二つ。主に愛される者は、世に憎まれる。腹をくくって、この道を行こう。

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

しゅ めい とお わたし わたし じゅうじか お しゅ したが
主に命じられた通り、私も私の十字架を負って主に従います。

くる なか かな た ちから あた
苦しみのただ中で、悲しみに耐える力を与えてください。

わたし いのち えいえん しゅ しょゆう
私の命は永遠に、主よ、あなたの所有とされました。

よ しんじつ しゅ い もの
世にあって、真実に、主のいのちに生きる者としてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」